

co-op

三重の生協の
今を伝える

No.131

2023年7月

三重県生活協同組合連合会

〒514-0009 三重県津市羽所町379
TEL.059-228-9913 FAX.059-228-9915

第47回通常総会を開催しました

三重県生活協同組合連合会の第47回通常総会を、6月21日(水)にアスト津アストホールで開催し、代議員総数32名中、28名が実出席されました。

茂木会長理事の挨拶の後、ご来賓の三重県環境生活部暮らし・交通安全課の田名瀬課長と、日本生活協同組合連合会関西地連の村上事務局長よりご祝辞をいただきました。

鈴木専務理事が、第1号議案から第5号議案までを一括して提案し、大川監事が第1号議案に関わり監査報告をおこないま

した。6名の代議員からは、三重大学の地域共創プラザと新しくなった三重大学生協の第1食堂に関わる取り組み、みえ医療福祉生協での津生協病院の新築移転に関わる取り組みと学生や地域の方々を支援するフードパントリーの活動報告、コープみえのサステナビリティレポートからの活動報告、三重県学校生協でのSDGsの活動を通した組合員のくらし応援と今後の活動報告、三重労済生協での「た

すけあい」と防災を中心とした活動の報告、食と健康の委員会が2022年度に取り組んできた活動等が報告されました。また、社会的な課題解決に向けて会員生協間連帯で取り組んでいきたいといった旨の意見が出され、鈴木専務理事が受け止めを回答しました。その後の議案採決では、すべての議案が賛成多数により可決決定されました。



- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 第1号議案 | 2022年度活動のまとめと決算報告
ならびに剰余金処分案の件 |
| 第2号議案 | 2023年度活動方針と予算案決定の件 |
| 第3号議案 | 「会費規約」一部改定の件 |
| 第4号議案 | 役員(理事9名、監事2名)選任の件 |
| 第5号議案 | 役員報酬決定の件 |

ご挨拶/会長理事 茂木 穰

この1年は、私たちのくらしにさまざまな影響のあった年でした。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻とその長期化によって、世界的なエネルギー・食糧・金融危機を引き起こしております。私たちのくらしは、円安によるさらなる物価高で、大変になっております。食糧自給率を上げ、輸入依存度下げていくことが必要です。

世界的な軍備拡大競争が広がっております。日本は、アメリカと中国の熾烈な覇権争い、台湾をめぐる軍拡競争に組み込まれようとしています。平和憲法を持っている日本は、外交力で戦争を回避する外交戦略を持ち、平和外交にもっと力を注ぐことが重要になっています。また、世界的に核兵器禁止条約の批准国の広がりがある中で、核兵器保持国が参加するNPT再検討会議で合意に至らない状況が続いております。核兵器を廃絶する運動は、ますます重要になっています。

東南海地震や毎年繰り返される自然災害に備え、事業継続、行政や関係団体との連携、迅速な支援のあり方を見直し強化していく必要があります。

よりよき生活と平和をめざすために、生協らしく助け合って、協力し合って、人間らしいくらしと持続可能な社会をめざす生協の役割をさらに発揮できるよう努力していきます。



一人は万人のために 万人は一人のために

生活協同組合
コープみえみえ医療福祉
生活協同組合三重県学校
生活協同組合三重大学
生活協同組合三重短期大学
生活協同組合三重県立看護大学
生活協同組合三重県労働者共済
生活協同組合

2023年度役員

会長理事（代表理事）	茂木 穰（員外）	重任
副会長理事	堀尾 茂貴（みえ医療福祉生活協同組合 専務理事）	重任
専務理事（代表理事）	鈴木 稔彦（生活協同組合コープみえ 理事長）	重任
理事	古市 早苗（三重県学校生活協同組合 専務理事）	重任
理事	竹内 信也（三重大学生活協同組合 常務理事）	重任
理事	鈴木 浩（みえ医療福祉生活協同組合 理事長）	新任
理事	安村 富子（生活協同組合コープみえ 副理事長）	重任
理事	鈴木 克彦（生活協同組合コープみえ 専務理事）	重任
理事	渡邊 浩伸（三重県労働者共済生活協同組合 専務理事）	重任
監事	大川 博（みえ医療福祉生活協同組合 監事）	重任
監事	森下 智（生活協同組合コープみえ 常勤監事）	重任

2023年度専門委員会とプロジェクトチーム

平和活動委員会

地域の平和活動団体とのつながりを深め、核兵器廃絶と戦争のない平和な社会づくりにむけ取り組んでいきます。

食と健康の委員会

会員生協の食と健康に関わる取り組みがすすむことをめざすとともに、学びの機会をつくっていきます。

協同をすすめる委員会

三重大学人文学部特殊講義「協同組合論」の運営を担い、あわせて関係する諸団体との連携を推進します。また、生協間連帯による合同インターンシップの開催をすすめます。

連帯と生協連のあり方検討チーム

生協のミッションとの関係で会員生協の課題を連帯で解決していく関係づくりと、連帯による新たな力を生み出していけるよう検討をすすめます。

大規模災害に備えるプロジェクトチーム

三重県での甚大な被害発生を想定し、会員生協と三重県生協連で事業・地域活動の面から必要な備えの検討をすすめます。

50周年記念事業実行委員会

会員生協や組合員とともに歩んできた50年を振り返り、到達点を確かめあい、共に喜びあえる企画を検討し具体化をすすめます。

活動報告

三重県知事から感謝状をいただきました

2023年3月12日（日）に、三重県総合文化センター中ホールで開催された第74回三重県消防大会において、茂木会長理事が一見勝之三重県知事から感謝状をいただきました。

三重県は、消防及び防災活動に尽力された功労のある方々等に対して表彰を行っており、三重県生協連は、緊急消防援助隊三重県大隊への食料等の供給に関わり消防防災行政への協力や活動を評価していただきました。



活動報告

学習会「核兵器のない世界を!～核兵器禁止条約締約国会議とNPT再検討会議の成果と課題を学ぶ」を開催

2023年1月21日(土)、Web会議システム(Zoom)とアスト津(三重県会場)、みんなの森 ぎふメディアコスモス「かんがえるスタジオ」(岐阜県会場)で、学習会「核兵器のない世界を!～核兵器禁止条約締約国会議とNPT再検討会議の成果と課題を学ぶ」を、全岐阜県生協連との共催で開催し、68名が参加しました。

長崎大学核兵器廃絶研究センターの中村桂子准教授から「核兵器禁止条約締約国会議とNPT再検討会議の成果と課題」をテーマにご講演をいただきました。また、日本原水爆被害者団体協議会の木戸季市事務局長から、核兵器禁止条約第1回締約国会議と2022年NPT再検討会議への参加報告をいただきました。中村先生は「核の傘」へ依存する声が出ている今はむしろ学びのチャンスであること、世界は核兵器のない世界に向かって進んでいると話されました。参加者からは核兵器の廃絶に向けて更に一歩踏み出していきたい等といった声が届きました。



活動報告

学習会「食品ロスをへらそう!」を開催

2023年1月28日(土)、三重県教育文化会館大会議室で、学習会「食品ロスをへらそう!」を開催し会員生協組合員等27名が参加しました。学習会に先立ち三重県生協連で募集してきた「食ロス川柳」の優秀作品表彰をおこないました。

学習会は、三重県環境学習情報センターの木村京子センター長から「商品ロスをへらそう!」をテーマにワークショップを組み合わせでご講演をいただきました。参加者は、食品ロスの現状、食品ロスとなっているもの、捨てられているには食べものだけ、自分ができることを考えあいました。

小学生から高齢者まで幅広い世代の方方で構成したワークショップは幅広い世代で考えあう機会となりました。食品ロス削減のことは分かっている自分ではできているのかをあらためて考えたとか、食べるものがない人がいる現実を知ることができたといった声が届きました。



活動報告

海洋プラスチックごみ問題の学習会
「海の中から 暮らし を考えてみよう!」を開催

2023年2月4日(土)、Web会議システム(Zoom)とアスト津で、海洋プラスチックごみ問題の学習会「海の中から 暮らし を考えてみよう!」を、原水爆禁止三重県協議会との共催で開催し、30名が参加しました。

プロダイバーで環境活動家の武本匡弘様から「海の中から 暮らし を考えてみよう!」をテーマにご講演をいただきました。磯焼け等の海中変化や、海岸線に打ち寄せられた無数のごみ、洋上に浮かぶ多数のごみ、その多くがプラスチック製であること、海中に漂うマイクロプラスチック等についても画像を通して分かりやすく解説していただきました。普段は目にすることができない今の地球の現状を確かめることができました。

武本様は、環境や平和問題を点ではなく線で考えていくことが大事、ペットボトルの使用についても考えていくべきと話されました。実態を知り将来を見据えた暮らしかたを考えていけるよう、会員生協のみなさんと一緒に学習活動をすすめていきたいと考えています。



消費者市民ネットワークみえ第6回通常総会を開催

2023年5月13日(土)、三重弁護士会館・津の総会ホールで、消費者市民ネットワークみえ第6回通常総会が、会員総数68名に対し23名の実出席と委任26名、Web1名の参加で開催されました。

総会の開会で吉本敏子代表(三重大学名誉教授)から消費者教育推進法の制定から10年が経過し、この10年間の消費者教育についての振り返りを行う動きがあり、今後消費者市民社会の構築や浸透についての議論がすすむであろうということ、また消費者市民ネットワークみえにおいてはオンラインも活用しながら「消費者市民」を意識した活動をすすめていきたいとのご挨拶がありました。

また、三重県環境生活部の高橋昌子消費生活監から、消費者市民社会の形成に向けた取り組みや消費者行政への協力に対する謝辞の後、消費者被害の防止に向けた啓発を一緒にすすめていきたいとのご挨拶がありました。

斎藤美淳副代表(三重弁護士会)より第1号議案から第4号議案が提案され、第1号議案については、村林敏也監事(三重弁護士会)より監査報告が行われました。

第1号議案 2022年度のまとめと会計報告

第2号議案 2023年度活動方針と予算案

第3号議案 規約一部改正の件

第4号議案 役員(代表、副代表、監事、世話人)選任の件
全議案が賛成多数で可決されました。



お知らせ

第47回通常総会記念講演会「協同組合のアイデンティティを学び、これからを考える」を開催します

1995年にイギリス・マンチェスターで開催されたICA100周年記念大会で、協同組合の定義・価値・原則が盛り込まれた「協同組合のアイデンティティに関するICA声明」が採択されました。それから約30年、国内外の社会・経済の状況は大きく変化しました。あらためて私たちが活動し、または働く場としての「協同組合」とは何かについて考えあいます。

日 時 2023年7月15日(土) 13:30～16:30 *受付13:00～ **場 所** 三重県教育文化会館 大会議室(5階)

募集人員 100人まで 【申込フォーム】 <https://form.os7.biz/f/c6817932/>

主 催 三重県生活協同組合連合会

講 師 前田 健喜氏(日本協同組合連携機構 CI・国際・研究チーム部長)

内 容 基調講演「協同組合のアイデンティティを現代に生かす」

ワークショップ「協同組合のアイデンティティに関するICA声明について考える」



お知らせ

介護保険制度について考える学習会「どうなっちゃうの?これからの介護保険!」を開催します

「介護を社会全体で支える」という介護保険制度がスタートして20年余り、少子高齢化とともに認知症高齢者や要介護高齢者が増加し介護者の不足も深刻化しています。そのような中、3年ごとに見直しが行われている介護保険制度は、2024年には8回目の改定が行われる見込みで、給付と負担の見直しが検討されています。介護保険制度がどう変わろうとしているのかを学び、これからのことを考えあいます。

日 時 2023年8月8日(火) 14:00～15:30 *受付13:30～

場 所 コープみえ本部会議室及び、Web会議システム(Zoom)

募集人員 会場16人、Zoon100人

【申込フォーム】

<https://form.os7.biz/f/446cb645/>

主 催 三重県生活協同組合連合会

講 師 白間 勝則氏

(一般社団法人 全国コープ福祉事業連帯機構 事務局長)

内 容 今後の介護保険を取り巻く状況、主な介護保険サービスの種類と3年ごとに見直されてきた介護保険制度のポイント、介護保険制度が直面する課題と介護保険制度改定の主な論点、生協の政策提言と政府への緊急支援要望について ほか

